

自然と共生する農業 やまがた

## 全県エコエリアやまがた農業推進プラン

田んぼや畑にはたくさんの「生きもの」がいます。

ミミズ、クモ、カエル、トンボ等の昆虫類やタニシ、ドジョウ、また、それを食べるサギ、トビ、キジ等が田畑の周辺に生息しています。

山形県は、最上川をはじめ豊かな自然環境のもとにあります。本県の農業は、その自然の恵みをうけながら発展してきました。さらに将来にわたってその多様な役割を果たしていくためには、これまで以上に環境にやさしく自然と共生する農業に取り組んでいく必要があります。

山形県では、今ある豊かな自然を守り、消費者の皆様から信頼される農業県になるため、生きものを育む土づくりを行いながら、化学肥料・化学農薬の低減による農産物の生産を県内すべての地域で取り組むことを推進しています。

それが「全県エコエリア構想」です。

## 策定の趣旨

食の安全・安心への関心の一層の高まりや、地球温暖化の進行など農業を取り巻く状況の変化等を踏まえ、「エコエリアやまがた推進方針」(H18年3月)」と「全県エコエリア構想アクションプログラム(H21年3月)」を併せて見直し、「全県エコエリアやまがた農業推進プラン(H22年12月)」を策定しました。

## 推進期間

おおむね平成26年度までとする。

## 環境保全型農業の現状と課題

環境保全型農業の取組農家数の割合は増加したが、一層の拡大が必要

平成17年度:51%  
→21年度:58%

エコファーマー数は大幅に増加したが、平成21年度に伸びが鈍化

平成17年度:5,302戸  
→21年度:10,013戸

特別栽培取組農家は増加しているが、有機栽培取組農家は横ばい

堆肥は県全体では供給が需要を上回っているが、地域によっては供給が不足

エコファーマー等の制度内容及び表示についての消費者理解が不十分

## 農業を取り巻く情勢

販売農家数の大幅な減少と高齢化の進展

有機含有量の減少等による地力の低下や養分過剰等土壌バランスの低下

有機農産物に対する高いニーズ

安全・安心への関心は高いが、農産物価格は全般に低下傾向で推移

生産

消費

地球温暖化の進展

生物多様性保全への関心の高まり

環境

## 推進目標

- 自然環境への負担軽減に対する農業からの将来にわたる貢献の継続展開
- 消費者からの信頼や消費者と生産者の共感を高め、環境負荷の低減に貢献するおいしく安全なやまがたブランドの形成

《数値目標》

	平成21年度(現在)	平成26年度	平成31年度
販売農家に占める環境保全型農業に取り組んでる農家数の割合	58%	70%	75%

# 展開方向と実現方策

## 1 「全県エコエリア構想」の推進

### ①普及・啓発活動の推進

- 「全県エコエリア構想」の県民に対する周知活動の展開
- 県の各種支援事業における要件化等による環境規範の普及拡大

### ②エコファーマー、特別栽培の取組の促進

- エコファーマー認定及び特別栽培農産物認証制度の普及啓発や栽培技術の指導
- 「つや姫」ブランド化のプロジェクト等との連携による取組農家の拡大

### ③有機農業の推進

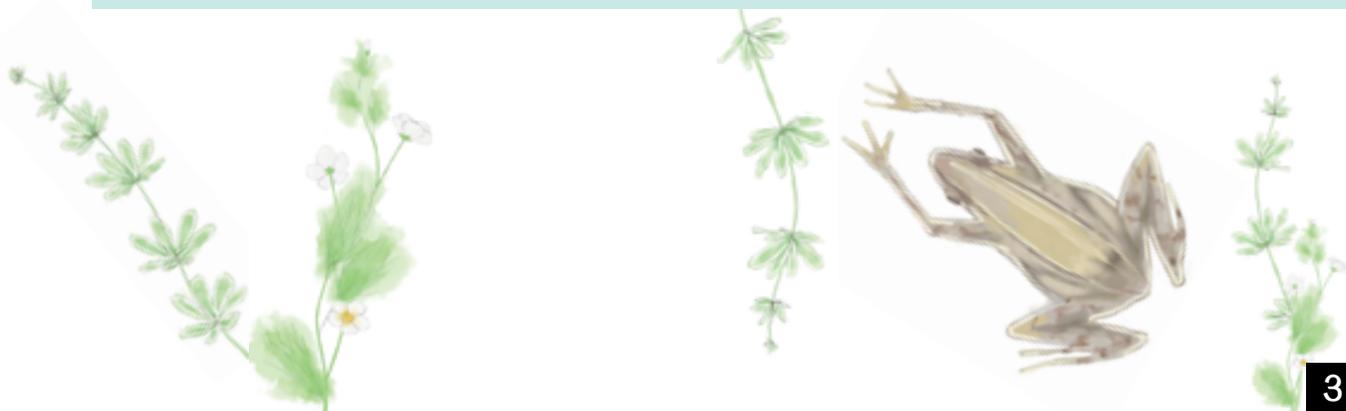
- 有機栽培技術の技術解析による生産技術の一般化及び生育指標の作成
- 有機農業者のネットワーク化の推進及び流通関係者や消費者等と連携した取組の支援

### ④堆肥等有機性資源の活用による土づくりの強化

- 土壌診断に基づく堆肥等の適正施用の推進及び土づくり支援システムの改良
- 堆肥製造施設や堆肥散布機等の整備支援及び散布組織の育成
- 堆肥需給実態の把握と広域流通を含めた需給調整の推進
- 畜産系以外の有機性資源の利活用の検討及び推進

### ⑤環境負荷の小さい農業生産に向けた技術開発と普及

- 収量や品質をできるだけ損なうことなく環境負荷の低減を目指した技術の開発
- 開発された技術の生産現場への普及と定着までのフォローアップ



## 2 地球温暖化防止と生物多様性保全に向けた取組の推進

- 温室効果ガスの排出抑制のための技術開発
- 生きものマーク米など環境保全型農業を活用したこだわりの取組支援等、環境保全型農業が地球温暖化対策や生物多様性保全に寄与していること  
の理解と共感の促進
- 農産物の環境価値を市場価値に反映させていくための取組の検討

## 3 消費者と生産者の共感の醸成

### ①消費者理解の推進

- 生きものマーク米など環境保全型農業を活用したこだわりの取組支援等、  
環境保全型農業が地球温暖化対策や生物多様性保全に寄与していること  
の理解と共感の促進（再掲）
- 農業体験、生きもの調査、対面販売やフォーラム等生産者と消費者との  
交流活動支援
- 食育との連携による環境保全型農業の理解と促進
- 山形県版GAPの取組拡大及び量販店等との取引要件となるGAPに対応  
するための研修

### ②環境保全型農業による農産物の流通促進

- やまがた農産物安全・安心取組認証制度への加入促進及びトレーサビリ  
ティの取組推進
- 環境への配慮や安全・安心を表すマークを活用した消費者等に対するPR  
及びこだわりの農産物を取り扱う実需者等との連携強化

## 4 農業・農村の多面的機能の維持・向上と公益的機能の発揮

- 地域住民等による生き物調査や農業環境学習に対する協力支援
- 環境との調和に配慮した生産基盤の整備推進

問  
い  
合  
わ  
せ

エコエリアやまがた  
HP <http://agrin.jp/hp/ecoarea/>  
「全県エコエリアやまがた農業  
推進プラン」のダウンロード  
は上記ホームページより

山形県農林水産部環境農業推進課  
〒990-8570  
山形県山形市松波二丁目8番1号  
TEL 023-630-2481  
FAX 023-630-3257  
HP <http://www.pref.yamagata.jp/>